

平成25年秋号 Vol.5



ききみみずきん

<発行・編集>喜多方市立図書館
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
 TEL:0241-22-1855

●<https://tosyokan.city.kitakata.fukushima.jp/>

10月～12月の図書館スケジュール 平日9:30～19:00 土日祝日9:30～17:30

| 10月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

| 11月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| 12月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

- ※ 休館日 ※年末年始休館 (12/28～1/3まで)
- おはなしドライブ(11:00～11:30) ちっちゃなおはなしかい(11:00～11:20)
- * ユニットおりがみ教室(10:00～11:30) 生け花講座(10:30～11:30) その他催し物

図書館からのお知らせ

～浅見彰宏さん講演会～

「3.11後に改めて思う福島・会津の魅力とは」

10/26(土) 13:30～15:00 (開場 13:15～)

昨年11月に発売された、喜多方市でのIターン生活をつづった本、『ぼくが百姓になった理由(わけ)』の著者・浅見彰宏さんによる講演会です。これからのふるりのあり方について、一緒に考えてみませんか？

- 対象 : 一般の方(中学生以上)
- 会場 : 喜多方市立図書館 2階 第二閲覧室
- 定員 : 40名(申込期間 10/1～) ※入場は無料です。



「図書館100周年記念事業」

～喜多方市立図書館 利用者アンケートのお願い～

実施期間:
10/12(土)～11/10(日)

期間中ご来館いただいたお客様にご協力を頂き、平成25年度利用者アンケートを実施いたします。皆様のご期待に沿えますよう、スタッフ一同、図書館運営に一層の努力をしていきたいと存じますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

～第4回利用者懇談会～ を開催します！

11/17(日) 13:30～15:00

図書館をより利用しやすくするために、市民の皆様からご意見を伺う利用者懇談会を開催いたします。皆様の生の声をお聞かせ下さい。

- 対象:どなたでも
- 定員:15名(申込期間11/1～)

～本の福袋～

平成26年1/4(土)～1/5(日)

好評につき、年の始めに本の福袋の貸し出しをいたします。数に限りがありますので、無くなり次第終了いたします。お早めにどうぞ。内容は、本が2冊とおまけつき♪新年に新たな本との出会いをお楽しみください！

※貸出期間は2週間、福袋1つで2冊分の貸出となります。



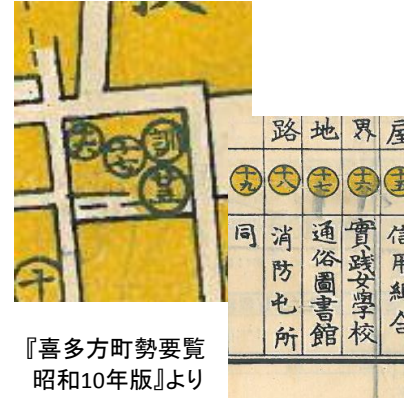
特集

喜多方の町と図書館の100年

第二次世界大戦中の一時休館から戦後の公民館図書部としての再出発、そして現在の図書館へ現在残されている資料から、当時の図書館の姿を探ります。

戦時中の図書館

昭和10年(1935)の町勢要覧を見ると、図書館は実践女学校の敷地内にありました。現在の厚生会館のあたりです。実践女学校の生徒数の増加に伴い、昭和18年(1943)には元蚕種試験場(現在の喜多方高校向かい)に移転しますが、終戦間際の昭和20年(1945)4月には、小金井から疎開してきた第三陸軍技術研究所に館舎を借り上げられ休館となりました。戦争末期の図書館が休館せざるを得なかった間、蔵書がどう保管されていたのか、知ることができる資料は現在見つかりません。一方、東京帝大(現東大)の東洋文化研究所の蔵書5万5千冊が上三宮の願成寺に疎開していたとの記録が、『腹ぺこー戦時疎開実態調査報告書ー』にあります。



『喜多方町勢要覧 昭和10年版』より 図書館の所在地

公民館図書部として再出発

第三陸軍技術研究所は終戦と共に引き揚げ、図書館は元養蚕試験場に戻って開館しますが、間もなく簡易裁判所の設置のため再び休館。昭和23年(1948)1月、旧消防屯所(現在のNTTのあたり)を館舎として再開しました。同年9月1日に、戦後の新しい社会教育の流れに沿って喜多方町公民館が新設され、図書館は公民館と合併して喜多方町公民館図書部となりました。



『喜多方町勢要覧 昭和25年版』より 町民一人あたりの蔵書数・一日の利用者数

現在図書館には、昭和26年(1951)ごろの公民館活動に関する文書が残されています(未整理資料の为非公開)。武者小路実篤講演会、田付川の河原での納涼はたる祭りなど、様々な催し物を行っていたようです。また公民館を活動の場としていた各種文化団体の規約や会報も一緒に綴られています。その中には、今年9月7日～10月6日まで、喜多方市美術館で開催された特別展「せびろまの夢」のタイトルの元となった、セピロマ会の会報もありました。

喜多方市の誕生・そして新しい図書館へ

昭和29年(1954)3月31日、喜多方町と松山・上三宮・岩月・関柴・

熊倉・豊川・慶徳の1町7ヶ村が合併し、喜多方市が誕生。

『喜多方市勢要覧 昭和32年版』より 公民館外観

喜多方町公民館は喜多方市公民館となりました。

昭和36年(1961)に新築落成した厚生会館内に移転しますが、

昭和38年(1963)には再び元蚕種試験場跡の建物に図書部のみ移転。

昭和45年(1970)ごろから図書館独立の機運が高まり、この年6月の議会で図書館設置条例が成立。

7月1日に喜多方市立図書館として公民館より独立しました。翌46年(1971)、条例を改正し、喜多方市・北塩原村・熱塩加納村・高郷村・山都町・西会津町・塩川町の喜多方地方広域市町村圏全域に利用を拡大しました。翌年新館建設費が計上され、昭和47年(1972)に現在の場所に竣工し、5月22日に開館しました。



(公民館本館)

【参考文献】

『喜多方市史 第3巻 近代・現代 通史編Ⅲ』 喜多方市史編纂委員会 2002 (L216-キ)

『喜多方市史 第10巻 文化 各論編Ⅲ』 喜多方市史編纂委員会 2002 (L216-キ)

『喜多方町勢要覧 昭和10年』 1935 (L318-キ)

『喜多方町勢要覧 昭和25年』 1950 (L318-キ)

『喜多方市勢要覧 昭和32年』 1957 (L318-キ)

『腹ぺこー戦時疎開実態調査報告書ー』 喜多方市中央公民館 1990 (L210-キ)

『小さい図書館を考える 喜多方市の図書館調査報告』 図書館問題研究会 1976 (L016-キ)

新着図書おすすめラインナップ！

毎週木曜日に新刊が入ります
お楽しみに！



『海底パール』

ステファノ・ベンニ／著
河出書房新社
2013・7（973-ベ）



なぜか海底に存在する謎のパール（居酒屋）。そこに集った怪しげな客達が語る、奇想天外な物語の数々。現代イタリアの人気作家による、思わずニヤリとしてしまう一冊。



『北限の海女今昔』
北限の海女今昔編集委員会／著
亜紀書房
2013・7（384-ホ）

朝のNHK連続テレビ小説「あまちゃん」には、こんなルーツがあった。歴史、伝統、文化など、様々な面から「北限の海女」について詳しく解説。天野家3代のインタビューも収録！

『地球のごはん』

ピーター・メンツェル、
フェイス・ダルージオ／著
TOTO出版
2012・3（383-メ）

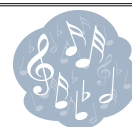


世界30カ国80人の、様々な職業の人々の一日分の食事を、ポートレートにおさめた写真集。総摂取カロリーとインタビューも収録。ふつうの人の、毎日の食卓から浮かび上がってくる、現代社会の多様な姿。

こちらも新着！

- ＊『八重さん、お乗りになりますか』
本井 康博／著 思文閣出版 2012.12（L289-モ）
※1階郷土資料コーナーにあります
- ＊『なぜヤギは、車好きなのか？』
小林 朋道／著 朝日新聞出版 2012.6
（489-コ）
- ＊『きものの仕立て方』
小田 美代子／著 文化学園文化出版局 2013.8
（593-オ）
- ＊『美しい子ども』
松家 仁之／編 新潮社 2013.8（908-ウ）

新着DVD・CD おすすめラインナップ！



DVD

- 『ぐらぐらどーん！
一もしものときにできることー』
【こどもの防災】（D369-グ）
- 『夢から醒めた夢』【ミュージカル】（D775-ユ）
- 『研辰の討たれ』【歌舞伎】（D774-ト）
- 『英国王のスピーチ』【洋画】（D778-エ）
- 『警察日記』【邦画】（D778-ケ）
- 『木を植えた男 ーフレデリック・バック作品集』
【アニメーション】（D778-キ）
- 『落語つれづれ』【落語】（D779-ラ）

CD

- 『THIS IS CLASSIC ーベスト&グレイテストー』
（C101-ジ）
- 『セゴビアの芸術』（C134-セ）
- 『オールウェイズ・ラヴ・ユー』（C220-ヒ）
- 『ベスト・オブ・ブロードウェイ』（C262-ベ）
- 『ふるさとの歌謡曲』（C290-フ）
- 『シタール絢麗』（C410-ダ）
- 『日本国憲法』（C650-ニ）
- 『ねぎぼうずのあさたろう』（C964-イ-1）

市指定史跡 伝 小野小町塚

小野小町は、平安朝時代に才気と美貌を合わせ持つ女流歌人として、六歌仙の一人にかぞえられています。全国に数多く分布するといわれている小町伝説ですが、その墓が^{みねかがた}峯利田地区の県道のほとりにあります。小野小町が故郷の出羽に帰る途中、長旅の疲れから病となりこの地で没したため、五輪塔を建て塚を築き供養されたと伝えられています。『新編会津風土記』にもここで詠んだとされる歌が載せられており、小町塚にも碑が建てられています。また、小町が化粧する際に鏡として用いたといわれのある「化粧清水」が小町塚のそばにあります。秋は、山と川に囲まれた雄大な自然と、小町塚の近くでは、そばの花が咲き誇る景観が楽しめます。



化粧清水



当時の五輪塔は既に失われ、その後建てられた宝篋印塔(写真右)も形が崩れたため、再建立した五輪塔



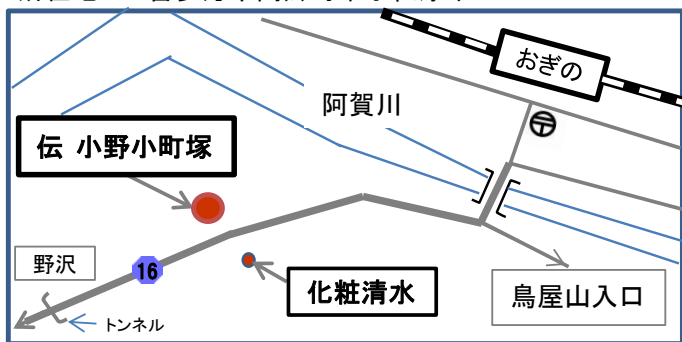
小町が詠んだとされる歌の句碑



みちのくの
うど(或は尾止)の桜と
人間はば
会津のそとの
とうもての
里

「会津のうち」に対して「会津のそと」とは、高寺山(会津坂下町と喜多方市の境界に位置する山)より西の事をいう。遠面(とうもて・今の高郷町塩坪)に咲いていた桜の樹が、独活(うど)の花に風情が似ているため、「うどの桜」という説もあり、小町がこの桜に想いを寄せて詠んだ歌とされている。新編会津風土記によれば、「その桜今はなし」とのことである。

所在地：喜多方市高郷町峯字松原甲669



【参考文献】

- 『新編会津風土記 第4巻』
歴史春秋出版 2002.2 (L296-シー4)
- 『喜多方市文化財ガイドブック』
喜多方市教育委員会／編集 2011.3 (L709-キ)
- 『会津高郷村史Ⅰ 歴史編』『会津高郷村史Ⅲ 民俗編』
高郷村史編集委員会／編集 1981.3 2002.3 ((L216-タ)

図書館ここだけの話

初夏から中学生や高校生のインターンシップ(職場体験)が始まりました。秋になりピークを迎えております。毎日の業務の中でインターンシップの指導時間を取るということは、少々きつい状況でもあります。しかし、せっかくの機会をいただいたわけですので、時間が許せる範囲で「館長講義」を担当させていただいております。仕事を通して自分の将来を考える、家族のことを考える、仕事をするという意味、挨拶の大切さ、郷土を誇りに思うこと、そして、図書館の役割とはなど。これからの喜多方、福島、東北、そして日本を背負って立つ若者たち。たくさん悩み、たくさん経験を積んで社会に大きく羽ばたいて欲しいと願っています。(館長)

【編集後記】

喜多方市美術館の特別展「せびろまの夢」はご覧になりましたか？喜多方でセザンヌの作品が見られるとは嬉しい驚きでした。来年以降のピカソ、ロダン、マティスも楽しみです。図書館では来年も連動して特集いたします。どうぞご利用下さい。(A・S)
今年、喜多方市立図書館百周年という記念すべき年にあたり、様々な催し物を開催しています。みなさんが参加しやすく、図書館に興味をもってもらえるよう、日々奮闘しております。ご意見・ご質問・お叱りなどありましたら、どしどしお寄せ下さい。(K・S)